



CraftBank consulting

システムの前に、業務を整える

業務を最小単位まで描き出し、
課題と新しい業務の流れまでを一緒に

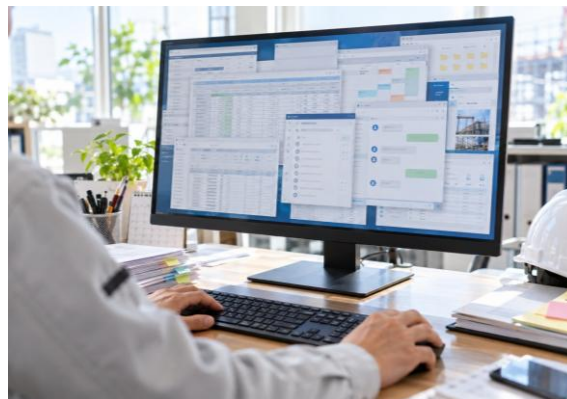
建設業向け 業務可視化コンサルティング ご案内資料

こんなお悩みはありませんか

ご相談をいただく建設会社さまから、よく伺うお話です。



システムが使われていない



ツールが乱立している



人によってやり方が違う



システム刷新に
一度つまずいた



拠点ごとに
運用がばらばら



何から手をつけるか
決めきれない



多くは「業務の流れ」が見えていないことから始まっています

ツールを選ぶ前に、今の業務を描き出す。そこから改善の順番が決まります。

出典：当社の商談・支援記録より、ご相談の多いテーマを整理（2025～2026年）。写真はイメージです

入口は2つ、最初にやることは同じ

システムを決めたい会社さまも、全体を見直したい会社さまも、まず今の業務を描き出します。

🔗 システムの要件を固めたい

こんな方に システムの入れ替えを控えている

🏠 業務の全体を見直したい

こんな方に どこから見直すか判断したい



まず、今の業務を
最小単位まで描き出します

誰が・いつ・何をしているかを、部署ごとに図にします

描くと、分かること



今のやり方が見える



社内の認識がそろう



本当の課題が分かる

CraftBank consultingとは

CraftBank consulting

建設業向け 業務可視化コンサルティング

業務を最小単位まで分解して見える化し、新しい業務の流れまでを描くコンサルティングです。



01 業務フローの可視化

部署ごとにお話を伺い、今の業務を図にします

02 課題の抽出

手戻り・二重入力・属人化を洗い出します

03 解決方針の策定

システム・道具・役割分担の見直し方を決めます

04 システム選定・導入

必要なら、仕組みの導入までご支援します



描いて終わりにしません

打ち手の策定にとどまらず、仕組みの構築・運用まで一貫してご支援します。

クラフトバンクの進め方

CraftBank consulting

建設業向け 業務可視化コンサルティング

建設会社の現場から生まれた会社だからこそ、業務の細部まで入り込み、改善を「回す」ところまで一緒します。

	一般的なコンサルティング	CraftBank consulting
進め方	ツールの使い方の説明が中心	✓ ツールより先に、業務の改善を設計
整理の深さ	表面的な課題の整理にとどまる	✓ 現場の業務を、細部まで分解
効果	導入後の効果があいまい	✓ 減らせる手間と時間を数字で示す
その後	提言をお渡しして終わる	✓ 仕組みづくりと定着まで続けて支援

クラフトバンクだからできること



建設会社がルーツ

内装工事会社のIT部門から生まれました

改善を形にできる

クラフトバンクオフィスや仕組みづくりで

担当者が伴走

33都道府県に住む担当者が伺います

進め方は5つのステップ、期間は約3ヶ月が目安

CraftBank consulting

建設業向け 業務可視化コンサルティング

中間報告と最終報告で、貴社と一緒に方針を決めます。期間は対象の部署・業務の範囲によって前後します。



約3ヶ月（目安）



中間報告 進み具合を共有し、方針を合意



最終報告 提言と、今後の進め方を決定



貴社にお願いすること



部署ごとの
ヒアリング

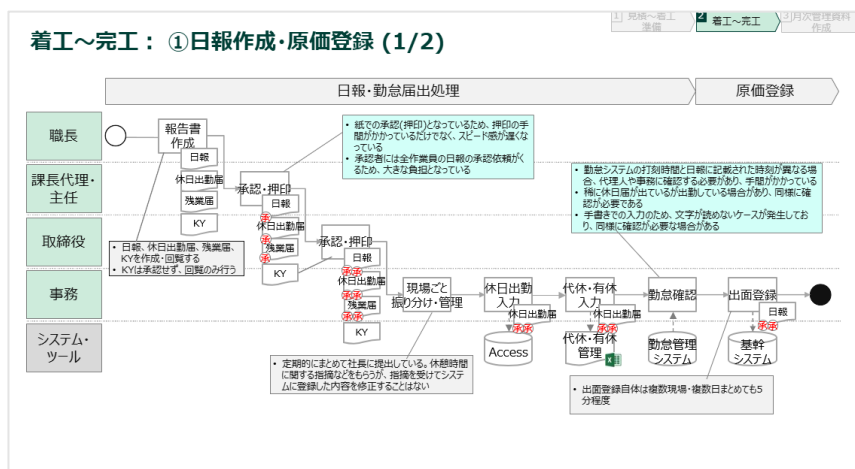


帳票・システム
画面のご共有



報告会での
ご判断

報告書は「貴社の中で決めるための材料」です。部署をまたいで同じ図を見ながら、次の一手を話し合えます。



例) 現行業務フロー

手間がかかる所に気づきを書き込みます

1 定量効果
転記に係る業務改善効果

- 転記に係る時間を年間287時間削減することができ、特に基幹システム登録の時間を大きく削減できる

#	業務名	現状業務ロー					将来業務ロー					差分
		頻度	件数	1件当たりの作業時間(分)	年間作業時間(時間)	年間作業量(時間)	頻度	件数	1件当たりの作業時間(分)	年間作業時間(時間)	年間作業量(時間)	
1	基幹システム仮登録	1	138	1	138	2	0	0	0	0	0	0
2	基幹システム登録	1	1,408	3	4,224	70	1	245	1	245	4	6
3	実行予算登録	1	203	2	406	7	1	203	2	406	7	0
4	注文書作成	1	1,020	2	2,040	34	1	1,020	1	1,020	17	1
5	新規顧客・案件情報登録	1	10	2	20	0	1	10	2	20	0	0
6	受注詳細情報入力	1	315	2	630	11	0	0	0	0	0	1
7	見積金額登録	1	648	1	648	11	1	648	1	648	11	0
8	出面データ登録	12	4	20	960	16	1	245	1	245	4	1
9	出来高請求情報入力(1課2課)	12	1	5	60	1	1	245	1	245	4	2
10	請求状態の切り替え	12	1	240	2,880	48	12	1	120	1,440	24	2
11	請求情報入力(3課4課)	12	2	10	240	4	1	245	1	245	4	0
12	部材費・外注費基幹システム登録	12	20	20	4,800	80	1	245	1	245	4	7
13	労務費・部材費保守点検管理システム登録	1	648	7	4,537	76	0	0	0	0	0	7
15	入金情報登録	12	3	1	36	1	12	3	1	36	1	0
16	代理人労務費原価登録	12	4	10	480	8	1	245	1	245	4	0
	合計				22,099	368				4,855	81	28

例) 業務改善の効果

ある会社さまでは年間287時間の削減見込み

お渡しする5つの成果物

01



現行業務フロー

今の業務を図に

02



課題一覧

手戻り・二重入力

03



解決方針

課題ごとの打ち手

04



新業務フロー 見直し後の流れ

05



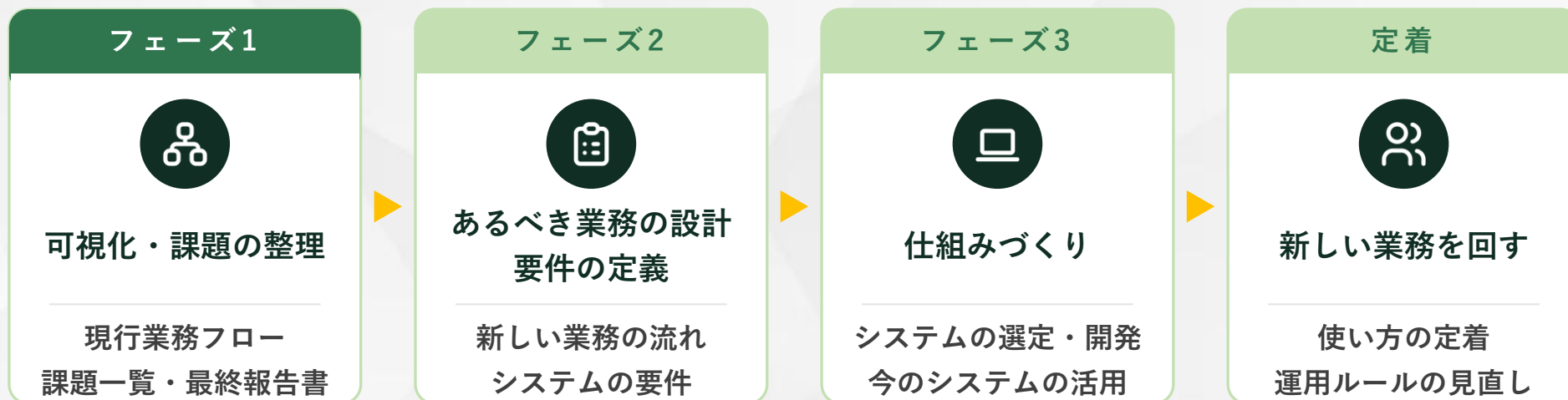
最終報告書

効果の試算と進め方

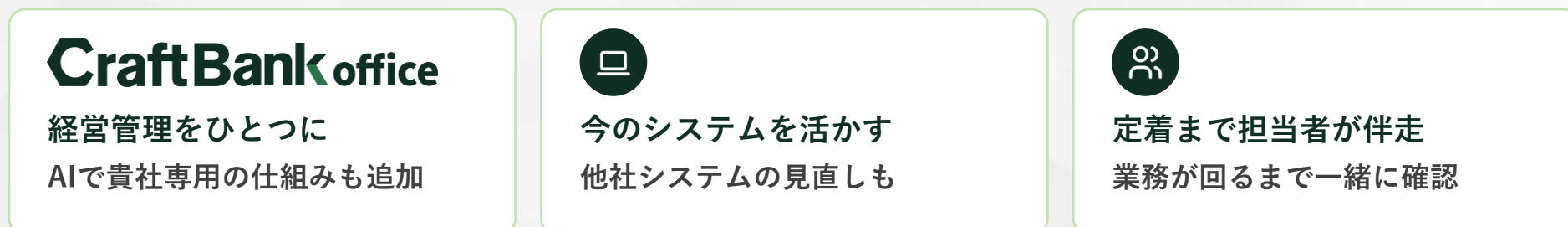
※画面は過去にご支援した会社さまの成果物の一部です。

描いた後も、続けてご支援します

報告書で決めた進め方に沿って、フェーズを分けてご依頼いただけます。他社システムを活かす形でも構いません。



フェーズ3以降の仕組みづくりも、一緒できます



自社の製品にこだわらず、貴社に合う組み合わせをご提案します

ご支援の事例

社名を伏せてご紹介します。どの会社さまも、最初に今の業務を描くところから始めています。

⚡ KD社 電気工事業

業務の見える化

期間 約2ヶ月

可視化 今の業務の流れを部署ごとに図にする

課題 課題一覧を作り、お客様と一緒に確認

提案 最終報告書で進め方を提言。AI活用のデモも共有

🏠 TK社 建設業

フェーズ2へ継続

期間 約5ヶ月

可視化 工事の契約から引き渡しまでの業務フローを作成

切り分け コア業務とそれ以外の業務を分ける

整理 効率化できる業務の割合を示す

🔧 TD社 電気設備工事業

拠点の業務をそろえる

規模 東北・約360名

可視化 拠点ごとに違う業務の流れを洗い出し

評価 品質・効率・運用の負担の3つの軸で比べる

報告 最終報告書と業務フローで統一の方針を提示



見える化から、次のフェーズへ続くご支援もあります

TK社さまは、業務フローの作成から業務の効率化へ、続けてご依頼いただきました。

出典：当社の支援記録（2025～2026年）。社名はイニシャルで表記しています

対象となる会社さまと、費用の考え方

ご相談の内容をお伺いしたうえで、範囲・期間・体制をご提案し、お見積りをお出しします。

こんな会社さまに



年商10億円以上の元請・一次請け
部署や拠点が複数ある



システムの入れ替えを控えている
要件を固めてから話したい



ツールが増えて全体が見えない
何から手をつけるか決めたい

期間・費用・契約



期間

約3ヶ月が目安



費用

範囲と体制に合わせて個別見積



契約

業務委託契約（フェーズごと）



ご提案まで

ヒアリング・ご提案は無料

ご相談の方法



直接ご相談

担当者が直接お話を伺います



金融機関からのご紹介

70以上の提携金融機関から

提携金融機関数：2026年10月時点

よくあるご質問

ご相談の前によくいただくご質問です。

Q システムを入れることが前提ですか？

A いいえ。業務を整理した結果、今のシステムの使い方を見直すだけで済む場合もあります。

Q 他社のシステムを使っている場合でも頼めますか？

A はい。自社の製品にこだわらず、お使いのシステムを活かす形でご提案します。

Q 社内の負担はどのくらいですか？

A 主に部署ごとのヒアリングへのご参加と、帳票などのご共有をお願いしています。

Q 期間はどのくらいかかりますか？

A 約3ヶ月が目安です。対象の部署や業務の範囲によって前後します。

Q 報告書もらった後はどうなりますか？

A 要件の定義、仕組みづくり、定着まで、フェーズごとに続けてご依頼いただけます。

Q 取引のある金融機関経由でも相談できますか？

A はい。提携金融機関からのご紹介でもご相談いただけます。

会社概要と、業界への取り組み

CraftBank consulting

建設業向け 業務可視化コンサルティング

内装工事会社をルーツとした、建設経営の伴走型AI/DX共創企業です。業界の交流と、調査・発信にも取り組んでいます。

会社概要

会社名	クラフトバンク株式会社
代表取締役社長	韓 英志
設立	2021年
資本金	1億円
累計調達額	40.7億円
従業員数	206名（2026年10月時点）
事業内容	建設業向け伴走型AI・DX共創事業 業界活性化支援事業
本社所在地	東京都中央区日本橋久松町12-8 DeLCCS 日本橋久松町8階
担当者	33都道府県に担当者が在住
パートナー	70以上の金融機関と提携

出典：クラフトバンク プレスキット（2026年10月版）。数字は2026年10月時点

CraftBank

業界への発信と、交流の場

職人酒場®
SHOKUNIN + SAKABA

建設業限定のビジネス交流会
累計200回以上
延べ8,800名以上が参加



CraftBank 総研

建設業界専門の調査・研究機関
2019年設立



メディアへの出演・寄稿



業務を見直す前の、10のチェック

当社に限らず、業務の見直しやシステムの入替えを考えるときに確かめていただきたい項目です。

☐ 01 業務の流れを、図で説明できるか

☐ 02 同じ仕事の手順が、人によって違うかないか

☐ 03 同じ数字を、2回以上入力していないか

☐ 04 どの数字が正しいか、決まっているか

☐ 05 承認や押印で、書類が止まっていないか

☐ 06 拠点ごとに、管理の仕方が違うかないか

☐ 07 入れたシステムが、現場で使われているか

☐ 08 システムを選ぶ前に、要件を決めているか

☐ 09 改善の順番を、数字で決められるか

☐ 10 担当者が替わっても、業務が回るか



3つ以上あてはまったら、まずは業務の見える化から

今の業務を描き出すと、どこから手をつけるかの順番が決まります。

CraftBank consulting

まずは、今のお困りごとを聞かせてください。

部署ごとの業務の流れと、いまのお困りごとを伺います。

ヒアリングとご提案までは、費用はかかりません。

無料相談のお申し込み

<https://craft-bank.com/form/quotation/>

【提供元】

クラフトバンク株式会社

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町12-8 DeLCCS 日本橋久松町8階

コーポレートサイト <https://corp.craft-bank.com/>